

楽しいことがいっぱい!! お子さんと一緒にどうぞ

第28回

鎌倉
福祉まつり



日時 9月7日(日)10時~14時 場所 鎌倉市福祉センター ※雨天決行※車でのご来場はご遠慮ください。



★模擬店コーナー

御幣餅、やきそば、しゅうまい、綿菓子、ポップコーン、いそべ焼き、フランクフルト、カレー、大学いも、沖縄ドーナツ、赤飯、焼鳥、手づくりパン、焼き菓子、串団子、かき氷、助六寿司、飲物など



★バザー・作品販売

★市民寄付物品(衣料品・食料品・雑貨品など)のバザー
★障害者福祉施設・団体・地域作業所等のバザー・作品販売

★舞台催し

楽しい舞台催しで福祉まつりをお楽しみください。



★子ども広場

★手づくりおもちゃ、布絵本、布遊具の紹介、輪投げ、木工あそび
★おもちゃ病院: 好きなおもちゃ! 思い出のおもちゃ! こわれたおもちゃを当日持ってきてください。無料で修理します(材料費は実費)



★体験コーナー

アイマスク体験、車椅子体験、点字体験、手話体験

★福祉なんでも相談 & 健康チェックなど

福祉全般、在宅介護、健康相談など

【主催】
社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会
鎌倉市ともしび運動推進委員会

【後援】
鎌倉市・鎌倉市教育委員会

【協賛】(順不同)
(株)豊島屋/大和証券(株)鎌倉支店/鎌倉商工会議所/(株)鎌倉ニュージャーマン/(株)上州屋ビジネスプランニング/大船工業倶楽部/鎌倉市商店街連合会/鎌倉ライオンズクラブ/スルガ銀行鎌倉支店/東京キリンビバレッジサービス(株)藤沢営業所/長谷川金物(株)/(有)チエコーポレーション/(株)紅谷/(株)井上蒲鉾店/(株)大森商店/(株)資生堂/青砥/大町五葉会/(社)鎌倉法人会/神奈川県栄養士会第4ブロック支部湘南東地区/(有)カインドリーセンター/宗達

【協力】(順不同)
第一地区社会福祉協議会/大町地区社会福祉協議会/材木座地区社会福祉協議会/第三地区社会福祉協議会/腰越地区社会福祉協議会/西鎌倉地区社会福祉協議会/深沢地区社会福祉協議会/大船地区社会福祉協議会/玉縄地区社会福祉協議会/鎌倉市自治町内会総連合会/鎌倉市民生委員児童委員協議会/鎌倉市ボランティア連絡協議会/施設部会(社会福祉施設)/団体部会(福祉団体)/鎌倉市障害者地域作業所連絡会/鎌倉市地域婦人団体連絡協議会/鎌倉市赤十字奉仕団/(社)鎌倉市シルバー人材センター/浜の湯「海の家」

(協賛・協力を受けて)「鎌倉福祉まつり」は、多くの市民・関係者のご協力により開催いたします。



湘南鎌倉法律事務所
社協、福祉法律相談弁護士 有坂 正孝氏

「支え」のかたち

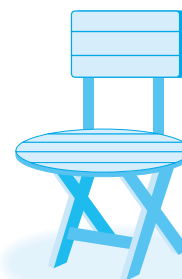
Aさんは、商店街にある自宅前の椅子に腰掛け、通行人を眺めたり、季節の移ろいを肌を感じたりして1日の大半を過ごします。観光客はAさんが穏やかな老いの日々を楽しんでいるのだらうと思って彼の前を通り過ぎますが、彼は心の病と若い頃から戦い続けているのです。

彼の温厚で真面目な人柄を愛する地域の人達は、椅子に彼の姿がないと心配し、椅子に腰掛けて煙草を吸っている彼を見ると安心するのです。

彼は前を通る私にいつも話しかけてきます。「どこへ行くの」「横浜の裁判所へ」と私は答えます。「儲かっているの」返答に窮する私は大阪弁を使って彼の質問をかわします。「ぼちぼちですわ」

彼を支える輪の中心にBさんがいます。Bさんは、頻りにAさんに電話をして健康状態をチェックします。病状が悪化すると、Aさんは玄関に鍵をかけ、部屋に閉じこもってしまいます。そんな時、Bさんは、知恵と体力を駆使して部屋に入り、Aさんに声をかけるのです。

「Aさん、私に出来ることは何」
Bさんは働き盛りの50代の女性です。



はじめの一步

鎌倉をもっと住みよいまちにするため、地域福祉活動にご活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。みなさんがどの様な“きっかけ”で活動をはじめ、どのような“想い”をもって活動をされているかをご紹介します。

●今回はNPO法人スローライフ支援事業部責任者 三嶋章さん(66歳)にお話を伺いました。



活動の後のビールが楽しみな三嶋さん♪

かして平成17年11月“NPO法人スローライフ支援事業部”を立ち上げた。

三嶋さんがこのNPO法人スローライフ支援事業部を立ち上げたきっかけは、ある養護学校を卒業した4人の方が、「レクリエーションに行きたい」という話があった。4人のヘルパーを申し込んだところ、結果的に3人のヘルパーしか集まらず、4人一緒には行けないという事があった。その4人の方が楽しみにしているごく当たり前の事をするために、「4人のヘルパーを集めればいい!何とか彼らの希望を実現させたい!そして実現させるための組織を立ち上げたい!という気持ちがきっかけでした」とその時の事

を思い出しながら、熱く語ってくれました。

その三嶋さんの呼びかけで、養護学校の卒業生4人の為に6人のヘルパーが集まり、NPO法人スローライフ支援事業部を立ち上げた。今では市内の障害児通園施設に通園する児童から、成人にいたるまで幅広い年齢層の方々に対し、年齢性別問わずガイドヘルパー講習(5日間)を修了した大学生、主婦、会社を退職された方など大勢の方が賛同し活動規模は大きくなった。立ち上げから2年半が過ぎ、「こんなに利用の希望があることは、ヘルパーとなり助けてくれた多くの仲間と、ご利用者や家族の皆さんの理解と協力があってこそです。」と感謝の気持ちを語ってくれました。

最後に三嶋さんは「自分と同世代のおじさん、おばさんにも社会福祉に興味を持って気軽に飛び込んできて欲しい!」。そんな三嶋さんは、街を歩いているときに人を見かけては「この人はガイドヘルパーをやってくれないかなあ〜」と思いながら日々過ごしているそうです。あなたも街で声をかけられたら、ガイドヘルパーを探している三嶋さんかもしれませんよ。

一口メモ



このマークを知っていますか??

聴覚障害者マーク
(警察庁)

6月1日より、聴覚障害者の方※1が車の運転免許を取得できるようになりました。

聴覚障害者マークは直径約12センチの円形で、緑の下地に黄色でチョウをあしらったデザインになり、運転時に車体の前後2カ所に表示が義務づけられています。マークを表示した車への幅寄せや割り込みは禁止され、聴覚障害者も表示を怠ると処罰されます。

※1一定の規定を満たす方に限ります。詳しくは鎌倉警察署まで23-0110